

令和元年度評価結果の反映状況

評価結果	業務運営への反映状況	備考 業務実績報告書 項目別実績番号
<p>1. 本県の地域医療を支える最期の砦として、感染症拡大への対応や、移行期医療等の新たな社会的課題に対して、県立三病院間の連携及び県との連携を一層深め、他の医療機関では対応困難な高度・専門・医療等の提供に取り組まれない。</p>	<p>SARS-CoV-2(以下「新型コロナウイルス」という。)感染症に関して、総合病院では18床の専門病棟を整備したほか、更なる感染拡大に対応するため、透析装置を有する病棟の整備も行っているなど、患者受入れ及び院内検査体制の強化に努めている。</p> <p>また、こころの医療センターでは、感染患者受け入れ用2床、スタッフ用2床の計4床を確保したほか、こども病院においても4床を準備し受入れに備える等、機構では、感染症対策に全力で取り組み、県民の安心、安全を医療面から支えている。</p> <p>移行期医療については、こどもから成人まで切れ目のない医療を提供するため、こども病院に令和2年2月、移行期支援センターを設置し、こども病院から他の2病院に移行できるよう、病院間の連携を図る体制を整えた。また、県の移行期医療支援センターの運営事業を受託し、今後、県と連携して移行期医療体制の拡充に取り組む。</p>	<p>14～24 各病院</p>
<p>2. 医療の質の向上と効果的・効率的な業務運営の両立が図られていることが、県民に正確に伝わるよう、業務実績について常に十分な要因分析を行うよう努められたい。</p>	<p>月次決算などにより、常に経営状況の分析を行うとともに、経営状況や業務実績及び県の評価結果をホームページに掲載し、県民に業務運営状況等を公表している。</p>	<p>96、104、112 企画、経営班</p>

評価結果	業務運営のへの反映状況	備考 業務実績報告書 項目別実績番号
<p>3. 院内保育所等の福利厚生施設の有効活用を図るとともに、医療従事者の声を踏まえ、働きやすく、働きがいのある病院となるよう、勤務環境の向上に取り組まれない。</p>	<p>こども病院の院内保育所では、新たに二重保育などを始めたほか、総合病院においても対象者を拡大するなど、院内施設の充実を図ったほか、確実な年次有給休暇の取得やハラスメント防止等に関する指針の整備や新たに労務管理者研修を開催するなど勤務環境の向上に取り組んでいる。</p>	<p>71、75、76 総合、こども、総務班</p>
<p>4. 救急医療、小児・周産期医療等の現場における医師の働き方改革の影響や、経営に対する人件費増加の影響等を注視した上で、安全で質の高い医療の提供や、地域医療提供体制維持に向けた医師派遣の根幹となる、医療従事者の確保に努められたい。</p>	<p>医療従事者の確保については、新型コロナウイルス感染症の拡大への対応として看護師採用試験でWeb面接を行った他、病院の魅力発信、医学生向け就職説明会に積極的に参加するなどしている。</p> <p>また、文部科学省より総合病院の事務部を除く全ての部署で科学研究費の応募が可能な研究機関として指定されているほか、先端医学棟を活用した研究体制の強化や勤務しながら博士課程の学位が取得できるよう、慶應義塾大学大学院医学研究科と連携協力協定を締結するなど、リサーチマインドを持つ医師にとって魅力ある職場を整備している。</p> <p>なお、令和3年4月に開学する静岡社会健康医学大学院大学についても、機構に勤務する医療従事者が働きながら修学できる環境を整備した。今後も引き続き説明会への参加や病院見学の積極的な受入を行い、確保に努める。</p>	<p>61、62、63、64 各病院、総務班</p>

評価結果	業務運営への反映状況	備考 業務実績報告書 項目別実績番号
5. こころの医療センターにおいては、リハビリ実施件数と訪問看護実施件数増加に向けて、取り組まれない。	<p>リハビリ（デイケア）は、感染防止対策として受け入れを一時制限していたが、再開後には外来主治医へ指示依頼、外来待合室に募集のポスター掲示の他、短期間限定の募集案内やデイケアパンフレットのリニューアル等で新規対象者の獲得に努めている。</p> <p>訪問看護については、入院中からの退院前訪問を多職種と連携して行い、急性期病棟における退院促進から在宅に繋げた。</p> <p>また、訪問時の感染防止対策の見直しにより、一時的に訪問件数が減少したが、再開後は増加傾向にある。</p>	17 こころ
6. こども病院におけるラーニングセンターについては、マスタープラン（施設改修計画）とも整合を図りつつ、院内研修の集約化による研修環境改善に向けて運用・検討されたい。	<p>ラーニングセンターについては、今年度末まで行われるリニューアル工事の中で一時閉鎖となっており、状況に変わりはないものの、工事終了後の再開に向け、検討部会等により、これまで検討してきた内容を踏まえ、運用方法等について検討する。</p>	67 こども
7. 消費税増税や診療報酬改定、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革等の環境変化に対して適切な対応を図り、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化が図られるよう、より一層の収益確保及び業務運営の改善・効率化に取り組まれない。	<p>診療報酬改定の影響の報告、医療事務作業補助者の適切な配置など、機構内での情報の共有化、意思決定の迅速化に努め、病院を取り巻く環境変化に対して適切な対応を図っている。</p> <p>また、職員の士気向上を図るために、新型コロナウイルス感染症に対応した手当の新設など給与制度について改善を行った。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を行う一方、結核病床も維持するなど、県の政策に協力していることから、収益的には大変厳しい状況にある。</p> <p>このため、収益確保では、施設基準の届出を積極的に行う一方、診療材料購入方法の見直しにより、経費縮減を図っている。</p> <p>質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。今後も更なる収益確保、業務運営及び給与制度の改善・効率化に取り組む。</p>	24、73、104 ～119 総務、職員、企画、経営班